

ルクセンブルク経済・金融情勢（2016年9月）

1. 経済

（1）統計情報

- 2016年8月のインフレ率は、年率で0.2%（前月0.0%）。（7日付統計局プレスリリース）
- 2016年8月の失業率は6.4%（前月6.4%、前年同月6.9%）。（23日付統計局及び職業安定所プレスリリース）
- 2016年8月の消費者信頼感指数は+10（前月+7）。（5日付中央銀行プレスリリース）
- 2016年9月の消費者信頼感指数は+5（前月+10）。（29日付中央銀行プレスリリース）
- ルクセンブルクは、米国金融格付け会社スタンダード&プアーズの評価において、最高評価となるAAAを獲得。一方、同社は年金制度改革を含む複数のリスクも指摘。（17日付Wort紙電子版）
- ルクセンブルクは、英国のシンクタンクZ/Yen社による第20回世界金融センター指数において世界12位（前回14位）、EU加盟国内ではロンドンに次いで2番目の金融センターと評価された。（26日付ルクセンブルク・フォー・ファイナンスプレスリリース）
- ルクセンブルク大学は、2016年のTimes誌世界大学ランキングで193位（前年193位）。ヨーロッパの大学の中では86位（前年99位）。（23日付Chronicle.lu電子版）

（2）政府事業

- 政府は、10日、欧州宇宙計画の将来に関する市民との意見交換会をEU22カ国各国と同時に開催し、シュナイダー経済相がルクセンブルクが宇宙資源開発分野でイニシアティブをとる必要性などを市民に説明。（12日付政府公報）
- 財務省は、2015年の財政収支を発表し、2015年予算に比べて、歳入は2億ユーロ（1.3%）増加、歳出は4.65億ユーロ（2.9%）減少。財政赤字は予想より7.96億ユーロ少ない1.76億。（26日付Wort紙電子版）
- 欧州委員会は、19日、ルクセンブルク税務当局がフランスの電力会社GDF Suez（2015年に社名を変更し、現Engie社。仏政府が33%の株式を所有。）に対して行ったタックスルーリングが違法な国家補助に当たる可能性があるとして、本格的な調査に着手すると発表。（19日付Wort紙電子版）

（3）企業情報

●SES社は、9日、同社投資子会社SES Satellite Leasingがマン島（英国）の地上局を介した新たなテレポートを構築すると発表。2017年の運用開始を見込む。（9日付Chronicle.lu 電子版）

●カーゴルクス社は、ルクセンブルクとプエルトリコのアグアディーヤ市を結ぶ冷蔵貨物の直行便を10月2日から運行すると発表。現在、同社は、アグアディーヤ市からヨーロッパへ向かう便を週4便運行しており、中南米の生鮮食品や花き産業で活用されている。また、乗り継ぎでルクセンブルクから同市へ向かう便も週4便運行。（12日付Chronicle.lu 電子版）

2. 金融

●スイスのUBS銀行は、ビジネス環境の変化とコスト高を理由に、ルクセンブルクにある資産管理部門をポーランドに移転する計画を発表。移転に伴い、従業員413人のうち60人を削減する見込み。（2日付Wort紙電子版）

●米国のJPモルガン銀行は、資金会計部門を英国エジンバラに、証券代行部門をインドに移転する計画を発表。それに伴い、ルクセンブルクで雇用する従業員の20%（105人）を解雇する見込み。（28日付Quotidien紙）

●LuxFLAG（持続可能な開発に資する金融商品に対して認証を与えるルクセンブルクの半官半民組織）は、23日、気候変動を緩和する事業への投資が確実なものとなるよう、新たなラベルLuxFLAG Climate Finance Labelを創設すると発表。（23日付LuxFLAGプレスリリース）

3. 主な政府動向

●グラメーニャ財務相は、9-10日の日程でブラチスラヴァ（スロバキア）で開催のEU財務相会合（Ecofin）に出席。ユーロ圏における財政健全化等について議論。（11日付財務省コミュニケ）

●エツェン農業相は、12-13日の日程でブラチスラヴァ（スロバキア）で開催のEU農業大臣非公式会合に出席。生産者から消費者までのサプライチェーンの効率化、透明化等について議論。（13日付農業省コミュニケ）

●ベッテル首相は、14日、パリで開催の人工衛星に関する国際会議に出席。「デジタル・ルクセンブルク」イニシアチブにより、2020年までに毎秒1GBの超高速通信ネットワークの実現を提唱。（15日付Wort紙）

※当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。